

F-REIの最近の動き (令和8年6月,7月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き（令和8年4月～）」から令和8年6月、7月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。

(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和8年6月1日（月） 分野長が就任

6月1日、農林水産業分野において、新たに分野長1名が就任しました。
これにより、分野長5名、副分野長10名の構成となります。

農林水産業分野



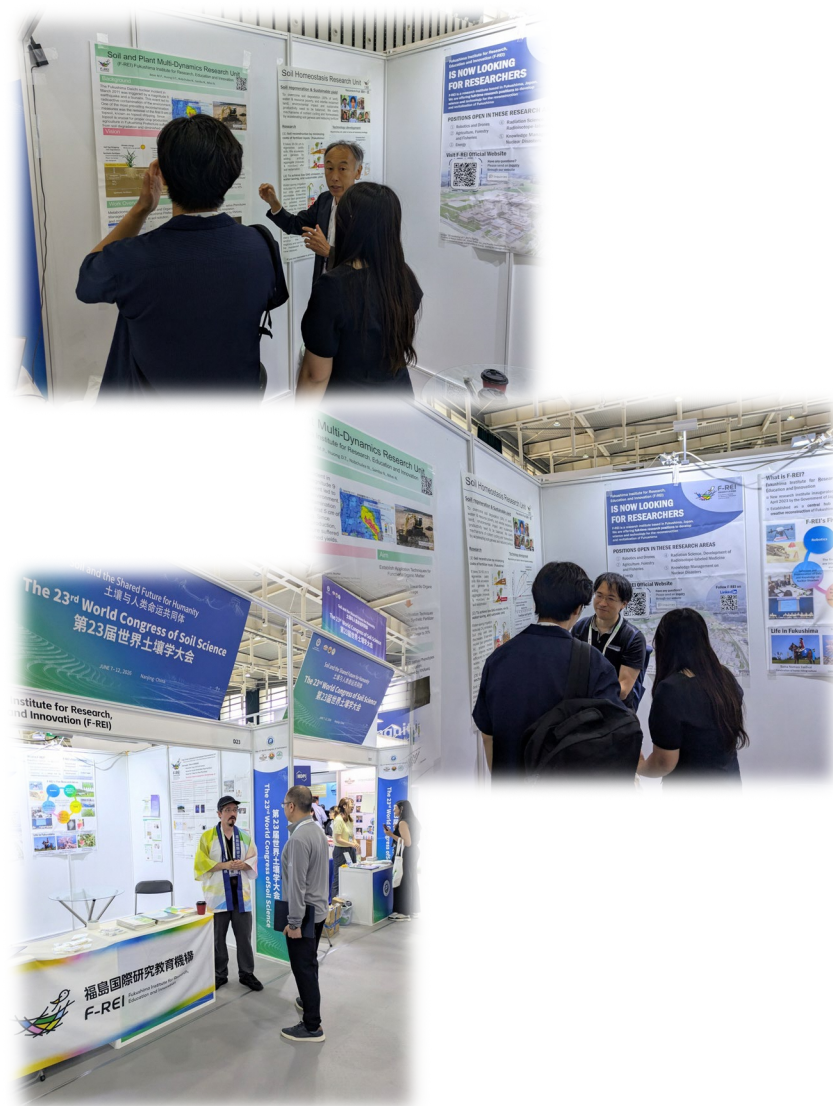
【分野長】**中谷 誠**（なかたに まこと）
福島国際研究教育機構 副分野長（農林水産業分野）

令和8年6月7日（日）～12日（金） 第23回世界土壌科学会議（WCSS2026）に参加

6月7日～12日、中国・南京で開催された「第23回世界土壌科学会議（WCSS2026）」に、F-REIも参加しました。

今回の会議は、「土壌と人類共通の未来」をテーマに開催され、世界各国から研究者や関係者が集まり、土壌に関する最新の研究成果や知見について活発な議論が行われました。

F-REIはブースを出展し、農林水産業における研究活動や取組について紹介するとともに、国内外の研究者や関係機関との交流を深めました。



令和8年6月17日（水）～18日（木） トップセミナー（福島工業高等専門学校）を開催

6月17日～18日の2日間に分けて、福島工業高等専門学校の3年生を対象にF-REIトップセミナーを開催しました。

17日は、F-REIエネルギー分野の秋田副分野長が講師を務め、電気電子システム工学科、機械システム工学科、化学・バイオ工学科の約50名を対象に「エネルギー問題の状況とF-REIエネルギー分野の研究」の演題で講演を行いました。講演では、地球温暖化の現状や日本における太陽光発電と風力発電の現状を含めたエネルギーシステムの現状を説明したうえで、F-REIのエネルギー分野で行っている研究について紹介しました。

18日は、森下監事が講師を務め、都市システム工学科、ビジネスコミュニケーション学科の約80名を対象に「勉強・研究への心構えについて（含：F-REIの紹介＋最新のAI技術）」の演題で講演を行いました。講演では、学校で学ぶ目的、研究とは何かを伝えるとともに、最新のAI技術についても説明しました。

それぞれの講演に参加した学生たちにとって、新しい知見を得る機会になった様子でした。



令和8年6月25日（木） サイエンスラボ（大熊町）を開催

6月25日、大熊町立学び舎ゆめの森の放課後
児童クラブにてサイエンスラボを開催しました。

今回は、顕微鏡を使って身近な動植物を観察。
約15名の児童生徒が参加し、普段はなかなか見
ることのできない小さな世界に触れながら、観察を
楽しみました。

子どもたちからは「すごい！」「どうして？」といった声
が上がり、興味津々の様子で、科学の面白さを感じ
てもらえる時間となりました。

今後も、地域の子どもたちが科学に親しみ、学ぶ
楽しさを感じられるような活動を継続していきます。



令和8年6月28日（日） 国際ワークショップで山崎理事長が講演

6月27日～28日、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）、原子力規制委員会（NRA）及び経済協力開発機構（OECD）原子力機関（NEA）の共催により「15-Year Fukushima Daiichi Accident International Workshop（東京電力福島第一原子力発電所事故後15年の節目に関する国際ワークショップ）」が、双葉町のFUTATABIで開催されました。

本ワークショップは、事故から得られた教訓を振り返るとともに、これまでの進捗や今後の課題について議論し、廃炉に向けた国際協力の強化を図る場として、国内外の専門家や関係者が参加しました。

28日には、山崎理事長が基調講演を行い、F-REIの取組や今後の展望について紹介しました。

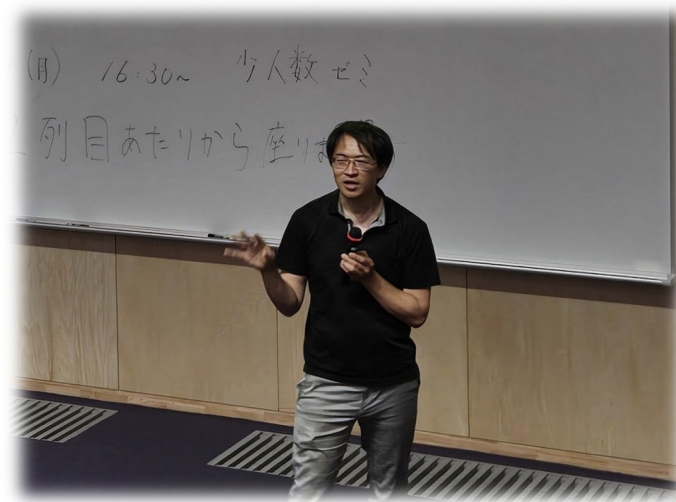


令和8年6月29日（月） 出前授業（安積中学校・高等学校）を開催

6月29日、福島県立安積中学校の1～2年生、高等学校の1～3年生の希望者 約50名を対象として、出前授業を開催しました。

F-REIの土壌ホメオスタシス研究ユニットの藤井一至ユニットリーダーが講師を務め、「福島で土から農業とキャリアをデザインする」という演題のもと、授業を行いました。授業では、土とは何か、世界の土・日本の土・福島の土の状況を紹介するとともに、土について研究することで何ができるのかについて説明されました。

今回の出前授業に参加した学生は、農学部への進学を検討している学生、農学に興味・関心の高い学生が多く、様々な質問や意見交換が行われました。参加した学生にとって、自身の進路や興味のある分野を見つめ直す機会になった様子でした。



令和8年7月3日（金） 出前授業（原町高等学校）を開催

7月3日、原町高等学校の1～3年生の希望者 約20名を対象として、出前授業を開催しました。

F-REIの大規模災害レジリエンス研究ユニットの葛西優香研究員が講師を務め、「浪江町におけるまちづくり・防災～自身の役割とは？～」という演題のもと、授業を行いました。授業では、震災後～現在までの双葉郡の状況を紹介しつつ、東日本大震災を始めとした様々な災害の経験を活かし、災害時にも助け合えるまちをつくるには何をすれば良いか、災害に備えて日頃からできることは何かを説明されました。

東日本大震災から15年が経過した現在、災害に備えて自分たちに何ができるか、万が一災害が起こってしまった時には何ができるかを改めて考えるきっかけとなった様子でした。



令和8年7月5日（日） 未来への風プロジェクトinなみえに参加

7月5日、浪江町地域スポーツセンターにおいて「未来への風プロジェクトinなみえ」が開催され、F-REIもドローン体験で出展しました。

今回のイベントは、子どもたちに科学やスポーツを楽しく学んでもらい、「未来への風」を起こしていくことを目的として開催されました。当日は100名以上が来場し、ドローン操縦体験やロケットを飛ばす体験、野球やサッカー体験に多くの子供たちが参加し、頭と体をフル回転させていました。また、スペシャルゲストの『おかあさんといっしょ』第11代目体操のお兄さん「小林よしひさ」さんによる体操の時間も大いに盛り上がり、浪江町に風が吹き抜ける1日となりました。

「エフとも」では、地域の未来を明るくすべく、このような楽しく科学を学べるイベントにも積極的に参加し、経験を積むことで教育プログラムをブラッシュアップしてまいります。



令和8年7月21日（火） F-REIとクロストークを開催

7月21日、「第2回F-REIとクロストーク」を開催しました。

今回は、F-REIで教育・人材育成に取り組むエデュケーション・アドミニストレーターの有銘（ありめ）さんと、科学や研究の魅力を分かりやすく発信するサイエンスコミュニケーションのAdela（アデラ）さんが出演しました。

パーソナリティーとのトークでは、F-REIの教育・人材育成の取組や、それぞれの仕事、これまでの経験などについて幅広くお話しいただきました。

当日は、参加者とゲストによる交流の時間も設けられ、さまざまな質問が寄せられるなど、和やかな雰囲気の中で交流を深める機会となりました。

[F-REIさんとクロストーク#2 2026.7.21](#)



令和8年7月21日（火） 福島からデジタル時代との学びの変革に参加

7月21日、F-REIが共催する「福島からデジタル時代の学びの変革」がコラッセふくしま（福島市）で開催されました。

「学びの変革」とは、福島県が推進する教育政策であり、全ての子どもに必要な資質・能力を育むため、一方通行で画一的な授業から、一人ひとりに応じた学びや協働的な学び、探究的な学びへと変換する取り組みです。

本セミナーでは、教育DXが学びの変革にもたらす可能性について、全国の先進事例や文部科学省における次期学習指導要領の検討状況などを踏まえながら、県内の教育関係者による活発な議論が行われました。パネルディスカッションでは、F-REIの高谷理事がモデレーターを務め、教育関係者やデジタル教育ルーツを提供する企業の関係者とともに、教育現場が抱える課題や解決に向けた取り組みについて意見を交わしました。



令和8年7月23日（木）～24日（金） 国際アドバイザー（フィオナ・レイモン博士）との意見交換を実施

7月23日～24日、国際アドバイザーのフィオナ・レイモン博士がF-REIを訪問し、役員等と意見交換を行うとともに、浜通り地域等の視察を行いました。

F-REI側からレイモン博士に対し、直近のF-REIの活動状況や施設の整備、研究開発の状況について説明したほか、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途及び国際人材の確保等について活発な意見交換が行われました。

また、レイモン博士に地域の現状の理解をより深めていただくため、震災遺構・浪江町立請戸小学校、福島県復興祈念公園、會澤高圧コンクリート株式会社、JAEA廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）富岡施設の視察を行いました。

F-REIは、引き続き国際アドバイザーから適切な助言を得つつ、国際化に向けた取組を進めてまいります。



令和8年7月25日（土）～26日（日） 国際STEAMワークショップin Fukushima2026に参加

7月25日～26日、原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）が主催する「国際STEAMワークショップ in Fukushima 2026」がCRAVAおおくまで開催されました。

昨年度に続き、F-REIの山崎理事長が国内共同議長を務め基調講演を行ったほか、土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニットの二瓶直登ユニットリーダー、放射線基盤技術開発ユニットの武田伸一郎主任研究員もメンターとして参加し、講演およびグループディスカッションにおける参加学生のサポートをしました。

本ワークショップは、全国の高校生の理工系分野への進出を後押しし、科学技術の発展を担う次世代のSTEAM人材を拡充・育成することを目的に実施されており、福島県内外および海外から計67名の学生が参加しました。参加した学生は、メンター等の講演やグループディスカッションでの交流をとおして学ぶとともに、プログラムの最後に行われたラウンドテーブル（全員参加型の質疑応答）では自身のキャリア形成に関する疑問や不安等について質問し、世界で活躍する研究者方の意見を聞くことで新たな視点や気づきを得ることができた様子でした。





F-REI

福島国際研究教育機構